

6

Data

資料

第三者保証 210

GRIスタンダード対照表 211

第三者保証

Hondaは、環境・社会関連データに関して、より高い透明性を確保し、信頼性を担保しながら情報公開を行うために、本レポートの の付された2025年3月期の環境・社会関連データについて、Deloitte Touche Tohmatsu Limitedのメンバーフームである有限責任監査法人トマツの関係会社「デロイトトマツサステナビリティ株式会社」による第三者保証を受けています。

保証範囲

保証対象とした環境関連データ：

- GHG 排出総量のうち、企業活動による直接排出（スコープ1）、エネルギー利用による間接排出（スコープ2）、Hondaの企業活動による排出（スコープ1・2合計）、製品の使用による排出（スコープ3 カテゴリー11）
- GHG 排出量（直接排出量（スコープ1）、間接排出量（スコープ2）、総GHG 排出量（スコープ1・2））
- エネルギー消費量（直接エネルギー消費量、間接エネルギー消費量、総エネルギー消費量）
- 取水量／排水量
- 大気汚染物質排出量（SOx 排出量、NOx 排出量）
- 廃棄物等発生量

保証対象とした社会関連データ：

- 休業災害度数率（国内）
- 労働災害死亡者数（国内）

Deloitte.

デロイトトマツ

独立した第三者保証報告書

2025年6月20日

本田技研工業株式会社
取締役 代表執行役社長
最高経営責任者 三部 敏宏 殿

デロイトトマツサステナビリティ株式会社
東京都千代田区丸の内三丁目2番3号

代表取締役 長谷 友春 

デロイトトマツサステナビリティ株式会社（以下「当社」という。）は、本田技研工業株式会社（以下「会社」という。）が作成した「Honda ESG Report2025」（以下「報告書」という。）に記載されている の付された2025年3月期の環境・社会関連データ（以下「サステナビリティ情報」という。）について、限定的保証業務を実施した。

会社の責任

会社は、会社が採用した算定及び報告の規準（報告書のサステナビリティ情報に注記）に準拠してサステナビリティ情報を作成する責任を負っている。また、温室効果ガスの算定は、様々なガスの排出量を結合するために必要な排出係数と係数データの状況に利用される科学的知識が不完全である等の理由により、固有の不確実性の影響下にある。

当社の独立性と品質マネジメント

当社は、誠実性、客観性、職業的専門家としての能力と正当な注意、守秘義務、及び職業的専門家としての行動に関する基本原則に基づく、国際会計士倫理基準審議会の「職業会計士の倫理規範」が定める独立性及びその他の要件を遵守した。また、当社は、国際品質マネジメント基準第1号「財務諸表の監査若しくはレビュー又はその他の併記若しくは関連サービス業務を行う事務所の品質マネジメント」に準拠して、倫理要件、職業的専門家としての基準及び適用される法令及び規則の要件の遵守に関する文書化した方針と手続を含む、包括的な品質マネジメントシステムを維持している。

当社の責任

当社の責任は、当社が実施した手続及び当社が入手した証拠に基づいて、サステナビリティ情報に対する限定的保証の結論を表明することにある。当社は、「国際保証業務基準3000 過去財務情報の監査又はレビュー以外の保証業務」（国際監査・保証基準審議会）、「国際保証業務基準3410 温室効果ガス報告に対する保証業務」（国際監査・保証基準審議会）及び「サステナビリティ情報審査実務指針」（サステナビリティ情報審査協会）に準拠して、限定的保証業務を実施した。

当社が実施した手続は、職業的専門家としての判断に基づいており、質問、プロセスの観察、文書の閲覧、分析的手続、算定方法と報告方針の適切性の検討、報告書の基礎となる記録との照合又は調整、及び以下を含んでいます。

- ・ 会社の見積り方法が、適切であり、一貫して適用されていたかどうかを評価した。ただし、手続には見積りの基礎となったデータのテスト又は見積りの再実施を含めていない。
- ・ データの網羅性、データ収集方法、原始データ及び現場に適用される仮定を評価するため、事業所の現地調査を実施した。

限定的保証業務で実施する手続は、合理的保証業務に対する手続と比べて、その種類と実施時期が異なり、その実施範囲は狭い。その結果、当社が実施した限定的保証業務で得た保証水準は、合理的保証業務を実施したとすれば得られたであろう保証水準ほどには高くない。

限定的保証の結論

当社が実施した手続及び入手した証拠に基づいて、サステナビリティ情報が、会社が採用した算定及び報告の規準に準拠して作成されていないと信じさせる事項はすべての重要な点において認められなかった。

以上

Member of
Deloitte Touche Tohmatsu Limited

GRIスタンダード対照表

共通スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	省略	説明
GRI 2:一般開示事項 2021	1.組織と報告実務					
	2-1 組織の詳細	2				
	2-2 組織のサステナビリティ報告の対象となる事業体	2				
	2-3 報告期間、報告頻度、連絡先	2				
	2-4 情報の修正・訂正記述	2				
	2-5 外部保証	2, 210				
	2.活動と労働者					
	2-6 活動、バリューチェーン、その他の取引関係	126, 128, 130, 140				
	2-7 従業員	119				
	2-8 従業員以外の労働者	2025年3月期有価証券報告書 p.11 https://global.honda/jp/investors/library/report.html				
	3.ガバナンス					
	2-9 ガバナンス構造と構成	185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198				
	2-10 最高ガバナンス機関における指名と選出	187, 188, 193, 194, 195, 196, 197, 198				
	2-11 最高ガバナンス機関の議長	193				
	2-12 インパクトのマネジメントの監督における最高ガバナンス機関の役割	4, 5, 6, 7, 8, 9				
	2-13 インパクトのマネジメントに関する責任の移譲	187				
	2-14 サステナビリティ報告における最高ガバナンス機関の役割	5, 6				
	2-15 利益相反	185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198				
	2-16 重大な懸念事項の伝達	185, 186				
	2-17 最高ガバナンス機関の集合的知見	185, 186, 187, 188, 189, 190, 191, 192, 193, 194, 195, 196, 197, 198				
	2-18 最高ガバナンス機関のパフォーマンス評価	189				
	2-19 報酬方針	189				

GRIスタンダード対照表

共通スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
GRI 2:一般開示事項 2021	2-20 報酬の決定プロセス	189			
	2-21 年間報酬総額の比率	207			
	4.戦略、方針、実務慣行				
	2-22 持続可能な発展に向けた戦略に関する声明	統合報告書「Honda Report 2024」p.05～09 https://global.honda/jp/sustainability/integratedreport/pdf/Honda_Report_2024-jp-all.pdf#page=07			
	2-23 方針声明	70, 71, 72, 107, 108, 109, 111, 114			
	2-24 方針声明の実践	70, 71, 72, 107, 108, 109, 111, 114			
	2-25 マイナスのインパクトの是正プロセス	200			
	2-26 助言を求める制度および懸念を提起する制度	200			
	2-27 法規制遵守	30, 199, 200			
	2-28 会員資格を持つ団体	9, 140			
	5.ステークホルダー・エンゲージメント				
	2-29 ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	7, 8, 9			
	2-30 労働協約	2025年3月期有価証券報告書 p.11 https://global.honda/jp/investors/library/report.html			
GRI 3:マテリアルな項目 2021	3-1 マテリアルな項目の決定プロセス	5, 6, 10, 11, 12			
	3-2 マテリアルな項目のリスト	5, 6, 10, 11, 12			
	3-3 マテリアルな項目のマネジメント	5, 6, 10, 11, 12			

項目別スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
経済					
GRI 201:経済パフォーマンス 2016	201-1 創出、分配した直接的経済価値	IR資料室 https://global.honda/jp/investors/library.html			

GRIスタンダード対照表

項目別スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
GRI 201: 経済パフォーマンス 2016	201-2 気候変動による財務上の影響、その他のリスクと機会	18, 21, 22, 29, 30, 32, 33, 34, 41, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 51, 52, 53			
	201-3 確定給付型年金制度の負担、その他の退職金制度	2025年3月期有価証券報告書 p.150, 151, 152, 153 https://global.honda/jp/investors/library/report.html			
	201-4 政府から受けた資金援助	-	政府から受けた資金援助	現時点で情報が得られない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
	202-1 地域最低賃金に対する標準的新入社員給与の比率（男女別）	124			
GRI 202: 地域経済でのプレゼンス 2016	202-2 地域コミュニティから採用した上級管理職の割合	119			
	203-1 インフラ投資および支援サービス	9, 166, 167			
GRI 203: 間接的な経済的インパクト 2016	203-2 著しい間接的な経済的インパクト	128, 148			
	204-1 地元サプライヤーへの支出の割合	128			
GRI 205: 腐敗防止 2016	205-1 腐敗に関するリスク評価を行っている事業所	200			
	205-2 腐敗防止の方針や手順に関するコミュニケーションと研修	200			
	205-3 確定した腐敗事例と実施した措置	200			
GRI 206: 反競争的行為 2016	206-1 反競争的行為、反トラスト、独占的慣行により受けた法的措置	199			
GRI 207: 税金 2019	207-1 税務へのアプローチ	191, 208			
	207-2 税務ガバナンス、管理、およびリスクマネジメント	191, 208			
	207-3 税務に関するステークホルダー・エンゲージメントおよび懸念への対処	191, 208			
	207-4 国別の報告	-	国別の報告	現時点で情報が得られない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
環境					
GRI 301: 原材料 2016	301-1 使用原材料の重量または体積	-	使用原材料の重量または体積	現時点で情報が得られない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
	301-2 使用したリサイクル材料	-	使用したリサイクル材料	現時点で情報が得られない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
	301-3 再生利用された製品と梱包材	54, 55, 56, 57			

GRIスタンダード対照表

項目別スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
GRI 302: エネルギー 2016	302-1 組織内のエネルギー消費量	66			
	302-2 組織外のエネルギー消費量	66			
	302-3 エネルギー原単位	-	エネルギー原単位	現時点で情報が得られていない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
	302-4 エネルギー消費量の削減	18, 29, 66			
	302-5 製品およびサービスのエネルギー必要量の削減	18, 29, 30, 32, 33, 34, 66			
GRI 303: 水と廃水 2018	303-1 共有資源としての水との相互作用	44, 52			
	303-2 排水に関連するインパクトのマネジメント	44, 52			
	303-3 取水	44, 52, 62			
	303-4 排水	44, 52, 62			
	303-5 水消費	44, 52, 62			
GRI 304: 生物多様性 2016	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業拠点	44, 45, 46, 47, 48, 49			
	304-2 活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	44, 45, 46, 47, 48, 49			
	304-3 生息地の保護・復元	44, 45, 46, 47, 48, 49			
	304-4 事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	44, 45, 46, 47, 48, 49			
GRI 305: 大気への排出 2016	305-1 直接的なGHG排出（スコープ1）	59, 61, 63, 64			
	305-2 間接的なGHG排出（スコープ2）	59, 61, 63, 64			
	305-3 その他の間接的なGHG排出（スコープ3）	59, 61, 63			
	305-4 温室効果ガス（GHG）排出原単位	29, 32, 61			
	305-5 温室効果ガス（GHG）排出量の削減	59, 61, 63, 64			
	305-6 オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	52			
	305-7 窒素酸化物（NOx）、硫黄酸化物（SOx）、およびその他の重大な大気排出物	65			
GRI 306: 廃棄物 2020	306-1 廃棄物の発生と廃棄物関連の著しいインパクト	52, 53, 62			
	306-2 廃棄物関連の著しいインパクトの管理	52, 53, 62			
	306-3 発生した廃棄物	52, 53, 62			
	306-4 処分されなかった廃棄物	52, 53, 62			
	306-5 処分された廃棄物	52, 53, 62			

GRIスタンダード対照表

項目別スタンダード

	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
GRI 308: サプライヤーの環境面のアセスメント 2016	308-1 環境基準により選定した新規サプライヤー	140			
	308-2 サプライチェーンにおけるマイナスの環境インパクトと実施した措置	127, 129, 130, 131, 134			
社会					
GRI 401: 雇用 2016	401-1 従業員の新規雇用と離職	119			
	401-2 フルタイム従業員には支給され、有期雇用の従業員やパートタイム従業員には支給されない手当	94, 95			
	401-3 育児休暇	83, 89, 93, 94, 117, 120, 123			
GRI 402: 労使関係 2016	402-1 事業上の変更に関する最低通知期間	78			
GRI 403: 労働安全衛生 2018	403-1 労働安全衛生マネジメントシステム	110			
	403-2 危険性（ハザード）の特定、リスク評価、事故調査	110, 113			
	403-3 労働衛生サービス	114, 115, 116			
	403-4 労働安全衛生における労働者の参加、協議、コミュニケーション	110			
	403-5 労働安全衛生に関する労働者研修	112, 113, 115			
	403-6 労働者の健康増進	114, 115, 116			
	403-7 ビジネス上の関係で直接結びついた労働安全衛生の影響の防止と軽減	108, 110			
	403-8 労働安全衛生マネジメントシステムの対象となる労働者	110			
	403-9 労働関連の傷害	124			
	403-10 労働関連の疾病・体調不良	124			
GRI 404: 研修と教育 2016	404-1 従業員一人あたりの年間平均研修時間		従業員一人あたりの年間平均研修時間	現時点では情報が得られていない	GRIスタンダードに沿った情報開示ができるように、ESGレポート2026（2026年6月に発行予定）に向けて検討を行う
	404-2 従業員スキル向上プログラムおよび移行支援プログラム	73, 74, 75, 79, 81, 82, 83, 84, 85, 87, 88, 89, 94, 95, 122, 123			
	404-3 業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている従業員の割合	124			
GRI 405: ダイバーシティと機会均等 2016	405-1 ガバナンス機関および従業員のダイバーシティ	73, 84, 85, 87, 88, 89, 119, 122, 123, 185, 186			
	405-2 基本給と報酬の男女比	121			
GRI 406: 非差別 2016	406-1 差別事例と実施した是正措置	199, 200, 201			

GRIスタンダード対照表

項目別スタンダード

GRIスタンダード	項目	ページまたはURL	省略された情報	理由	説明
GRI 407: 結社の自由と団体交渉 2016	407-1 結社の自由や団体交渉の権利がリスクにさらされる可能性のある事業所およびサプライヤー	77, 131, 134, 140			
GRI 408: 児童労働 2016	408-1 児童労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	140, 201			
GRI 409: 強制労働 2016	409-1 強制労働事例に関して著しいリスクがある事業所およびサプライヤー	140, 201			
GRI 410: 保安慣行 2016	410-1 人権方針や手順について研修を受けた保安要員	75, 119			
GRI 411: 先住民族の権利 2016	411-1 先住民族の権利を侵害した事例	127, 128, 130, 131, 134, 140			
GRI 413: 地域コミュニティ 2016	413-1 地域コミュニティとのエンゲージメント、インパクト評価、開発プログラムを実施した事業所	7, 8, 142, 143, 144, 145, 146, 147			
	413-2 地域コミュニティに著しいマイナスのインパクト（顕在化しているもの、潜在的なもの）を及ぼす事業所	7, 8, 142, 143, 144, 145, 146, 147			
GRI 414: サプライヤーの社会面のアセスメント 2016	414-1 社会的基準により選定した新規サプライヤー	140			
	414-2 サプライチェーンにおけるマイナスの社会的インパクトと実施した措置	128, 130, 131, 134, 140			
GRI 415: 公共政策 2016	415-1 政治献金	9			
GRI 416: 顧客の安全衛生 2016	416-1 製品・サービスのカテゴリーに対する安全衛生インパクトの評価	164			
	416-2 製品・サービスの安全衛生インパクトに関する違反事例	183			
GRI 417: マーケティングとラベリング 2016	417-1 製品・サービスの情報とラベリングに関する要求事項	27			
	417-2 製品・サービスの情報とラベリングに関する違反事例	27			
	417-3 マーケティング・コミュニケーションに関する違反事例	199, 200, 201			
GRI 418: 顧客プライバシー 2016	418-1 顧客プライバシーの侵害および顧客データの紛失に関して具體化した不服申立	205			



How we move you.

CREATE ▶ TRANSCEND, AUGMENT

本田技研工業株式会社

〒105-8404 東京都港区虎ノ門2-2-3
虎ノ門アルセアタワー

発行 2025年 6月